

診療所長 今月の二句

令和七年 三月

つちふる日 赤城山さえ 苦しげに

「つちふる」とは、「土降る」「↓」黄砂のこと。次の句の、「霾ぐもり」も、同じ意味です。漢字一文字で表せば、「霾」。花粉症の人は、黄砂の中にそびえる赤城山を望むにつけ、気の毒に思うはず。

よな

つぼみ

霾ぐもり 蕾も人も 閉じ籠る

強風と黄砂のダブルパンチで、鬱傾向になり、外出もしたくないし、やる気も出ません。